

👂 耳でも聞ける



議会だより

2023 No. 207

令和5年10月25日発行
岩手県紫波町議会



主な内容

令和4年度 決算

借金減らし積み立て増!! 2

一般質問

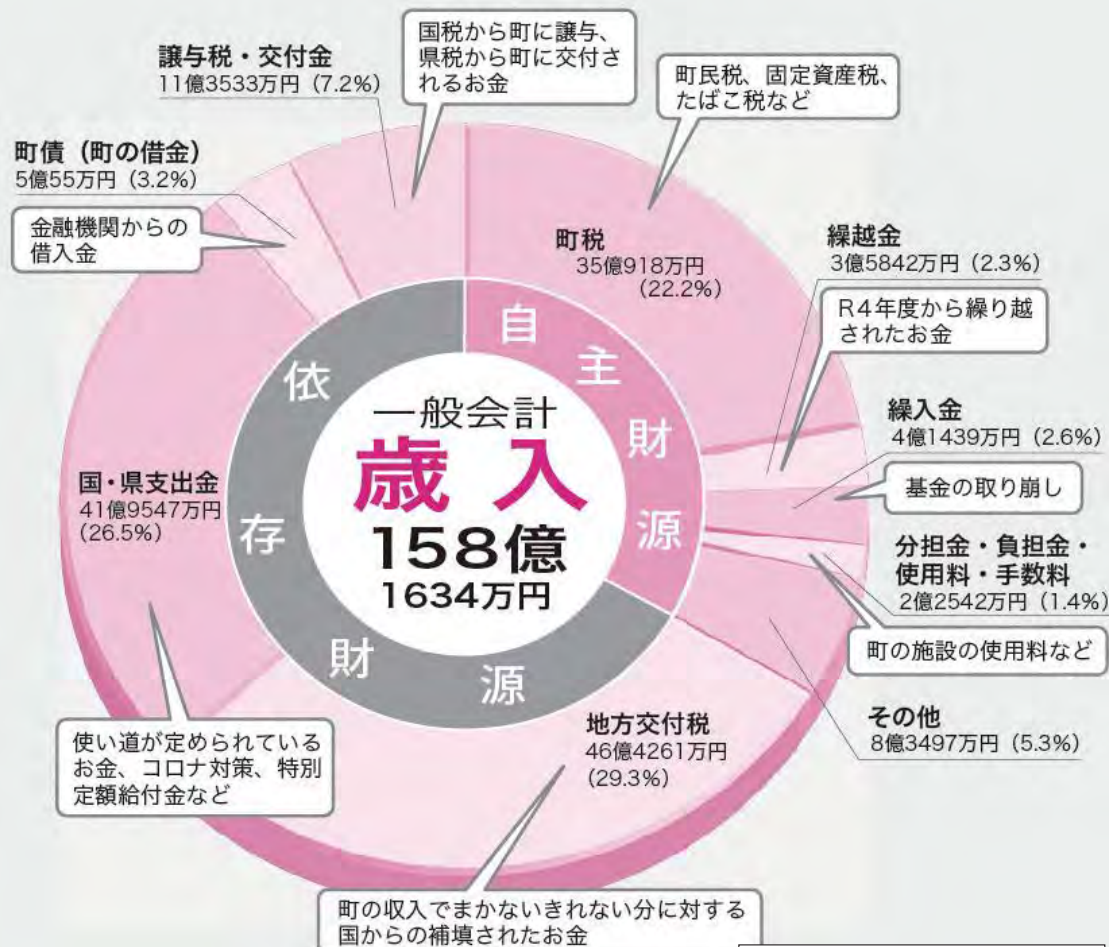
9議員が町政を問う 11

積み立て増！！

定例会
9月会議

9月1日～22日

歳入の内訳



提案された令和4年度決算認定・条例案件・予算案件・人事案件など24件と議員の提出した発議案4件を合わせた28件について審議した結果、全て原案のとおり可決・合意をしました。

一般質問は、9議員が、城山公園整備、子どもに係る政策、マイナンバーカード、教育、農業支援などについて町の見解をたえました。

金額・%は端数処理のため、合致しない場合があります。

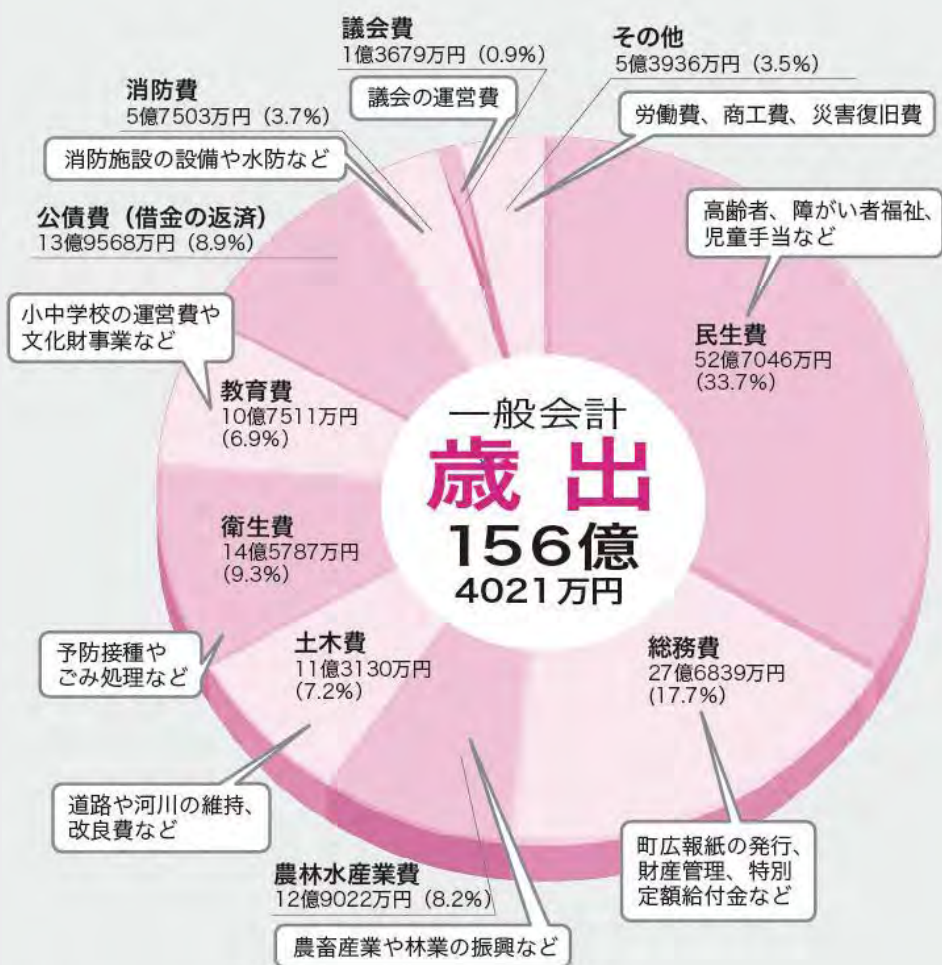
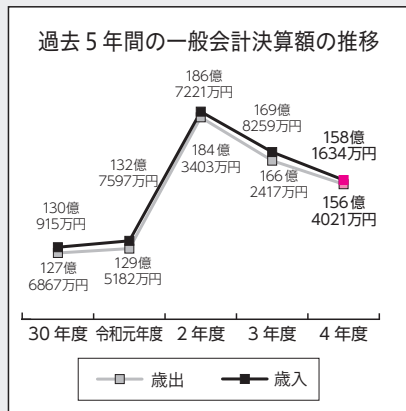
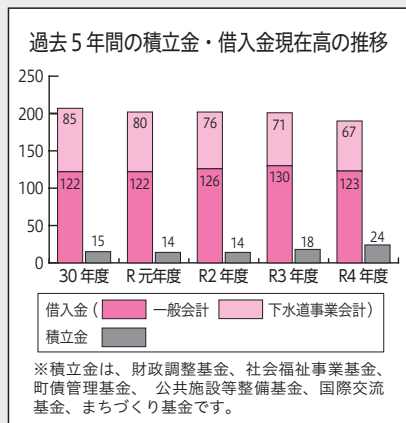
令和4年度の決算状況

会計区分	一般会計	特別会計				下水道事業会計	
		国民健康保険	後期高齢者	介護保険	介護予防サービス	収益的収支	資本的収支
歳入	158億1634万円	31億8147万円	3億5120万円	34億8554万円	831万円	13億234万円	4億3435万円
歳出	156億4021万円	31億551万円	3億4988万円	33億7147万円	713万円	12億6875万円	10億6027万円
収入未済額	1億1772万円	7688万円	54万円	559万円	0円	4429万円	41万円
採決の結果	全員賛成						



令和4年度 借金減らし

歳出の内訳



監査意見



熊谷代表監査委員

監査委員 熊谷 順太
箱崎 勝之

令和4年度決算は、町税の収入率が過去10年の中で最も高くなっている。町債発行額と公債費決算額とのバランスを測り、圧縮などに努め、財政調整基金が17億円弱まで積み上がったことは評価できる。

本町では、公共施設の老朽化など行政需要の増加が想定され、健全財政の堅持、「なければならぬもの」に財源を振り向け、手持ち財源の充実を図っていくことを望む。

コロナ禍において住民福祉の増進を図った町行政であったと総括できる。職員が能力を発揮できるよう自ら働きやすい環境の確立を期待する。



お金の使い道

対して審査を行い、それぞれに意見を付して可決しました。

担い手育成総合支援事業

問 経営改善計画書の作成支援の成果は。

答 認定農業者は年間所得420万円、労働時間2000時間に抑えるように計画を策定をする。令和4年度は23件の改善支援を行った。

意見 農業経営体への支援を強化し、喫緊の課題である担い手の育成に努められたい。

盛岡・紫波地区環境施設組合負担金

問 家庭系ゴミが300トン減っているが、経費が昨年度に比べ300万円ほど増額した要因と対策は。

答 原因は、ゴミ焼却施設運転用コークスの価格高騰にある。主要生産国である中国の生産が不安定で見積単価58・3円/kgが、実際は108円/kgと倍以上に増えた影響が大きい。対策としては、転入者を含め分別説明会などを通して広くゴミ減量活動を推進していく。

除雪事業

問 モーターグレーダー（除雪車）の購入時にリース導入の検討はしたか。また、除雪作業についてムラがあるとの声があるがどのような対応をしたか。

答 モーターグレーダー購入は3分の2を交付金で賄っているためリースより安く導入している。また、今回入れ替え車両については30年ほど使用した。除雪作業は、シーズン前に業者と安全かつ円滑な作業ができるよう打ち合わせを行っている。道路状況もあるが、これからも適切な指導をしていく。



町営住宅建替事業

問 町営住宅PPP／PFI導入可能性調査の結果をどのように検討したか。

答 約495万円で委託し、町営住宅の建て替えに民間の活力を導入できるか可能性調査を行った。具体的には、建て替え戸数、整備戸数の考え方、事業の基本条件の検討を行った。この調査に関して、建設業者、不動産業者の意見を聴取し、民間活力による町営住宅の建設は可能ではないかという結果を得た。

ふるさと寄附対応事業

問 ふるさと納税が15,180件あったが、この財源はどのようなところに使われていたのか。

答 寄附の際、10種類の項目からアンケート形式で使い道の希望をとっている。令和4年度はインフルエンザの予防接種や、除雪車の購入などに使用された。

令和4年度決算

議員が質問！

町の決算に対し質疑し、一般会計・特別会計・下水道事業会計に

地域防災推進事業

問 重点施策として自主防災組織の体制確立の推進と活動支援が揚げられているが、その成果は。

答 コロナ禍で、人を集めての活動が難しい状況だったが、令和5年2月に古館ふれあいホールにて岩手県防災サポーターを講師に迎え、自主防災リーダー研修会を開催して、防災意識を高める取り組みを行った。

小中一貫教育推進事業

問 小中一貫教育検証委員会の検証結果を受けての取り組みは。

答 検証委員会によるアンケートで児童生徒・保護者からは、概ね高評価を得られた。教職員については、課題解決に向けてさらに研修会を行い、理解を深めた。

意見 小中一貫教育の検証を行い、児童生徒および教職員の良好な教育環境の充実に努められたい。



就学援助費支給

問 周知は。家計急変への対応は。

答 新一年生に対しては、入学前の就学時健診の際、在校生に対しては、学校から世帯へ案内している。家計急変に対しては、随時相談を受け付けている。

不登校児童生徒への支援

問 教育機会確保法の周知と法に沿った取り組みは。

答 校長会議や生徒指導主事研修会などで周知を図っている。別室登校やフリースクールの出席扱い、教育支援教室などの取り組みを進めている。

意見 不登校児童生徒の状況を把握し、適切な相談や心身のケアに努めるとともに教育機会確保法について、広く周知を図られたい。

学校給食事業

問 滞納が増えた原因は。滞納を解消するための対策と効果は。

答 新型コロナウイルスの影響で自宅訪問できなかったのが一番の要因。令和5年度からは積極的に訪問して

いる。結果として令和4年度に比べ収納率が増えてきている。今後も収納に努力していく。

病児保育事業実施委託料

問 予約者が多くキャンセル待ちもある。需要に対して対応できていたか。

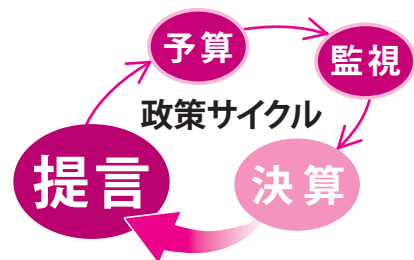
答 キャンセル待ちの家庭もあったが、一日当たりの平均受け入れ人数は6人に対し2.9人だった。年間を通じての需要に対しては対応できていたが最大値に対応した運営は難しい。バランスを考えながら見通しを立てていく。

一時保育事業

問 利用者の減少に対して、今後の運営は。

答 減少の原因は新型コロナウイルスの影響が大きかった。今後は利用控えが落ち着いてくると見られ、動向を見ながら事業を進めていく。

町へひとこと



評価
区分

拡充

継続

改善
効率化

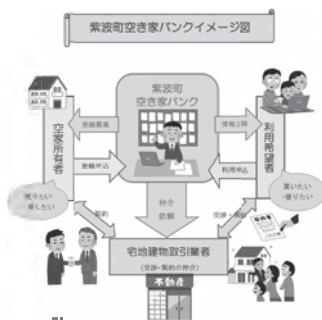
見直し
縮小

終期
設定終了

廃止

拡充

空き家等対策事業



評価 管理不全空き家などの解消…成果指標 43 件に対し実績 51 件。
空き家バンクの登録…成果指標 40 件に対し実績 22 件。

意見 潜在的な空き家の所有者に対しても適正管理を促すこと。
関係機関と連携し、相談窓口の充実。
空き家バンク登録の勧奨と利活用の促進。

提言 空き家バンクの PR 活動を積極的に行うとともに、周囲に影響を
及ぼす空き家、樹木などのパトロールを強化し、空き家予防、管理不
全の解消に努められたい。危険家屋について解体・改修などの町
単補助金を検討されたい。

継続

学校運営協議会推進制度事業



評価 令和 4 年度から学校運営協議会を全小中学校で実施している。年 4
回熟議が行われ、取り組みの実行段階であり今後の活動を注視する。

意見 学校運営協議会制度と活動の周知。
各地区での丁寧な運営と地域との連携を。

提言 学校運営協議会の活動の見える化に一層努められたい。また、中央部
においては紫波一中学校区の各小学校との連携に努められたい。

継続

こどもの家・放課後こどもクラブ運営事業



評価 紫波東こどもの家の開所…川東地区の利用ニーズに対応。
古館地区、赤石地区のこどもクラブの開所…待機児童を解消。

意見 中央部で見込まれる利用ニーズに対し、十分な検討が必要。
潜在的ニーズについても把握が必要。

提言 学童待機児童を出すことがないよう、中央部の高まるニーズへの対応・手
法を十分検討すること。スタッフの人材確保と育成、環境の整備にも十分
留意されたい。電気代、物価高騰分を考慮した予算編成を図られたい。



令和4年度 事業評価

議会から

事業評価とは

議会基本条例により、決算の審議を通じて町長が執行した施策や事業の評価を行います。町長に対して、その評価を翌年度以降の予算に反映させるよう求めるものです。

継続

広報紙発行事業



- 評価** 紙面の拡大、文字フォントが大きくなり見やすくなった。
月2回から1回の発行、二つ折りにできるよう紙質を変更し、配布の負担軽減を図った。
- 意見** 必要としている情報が一目でわかるような見出し、多くの町民が登場する紙面づくりなどの工夫を。
- 提言** 町の動きや情報が伝わり、さらに町の魅力が発信されるよう充実されたい。

拡充

ホームページ運営事業



- 評価** モバイル端末からの閲覧者が増加傾向。
- 意見** 情報の必要性・正確性をチェックする機能の充実を。
町内の授乳場所、鳥獣対策情報など、タイムリーな情報を簡単に検索できないか。
- 提言** リニューアルへの適切な予算確保は大事だが、利用者が公平な恩恵を得られる対策に重視した予算とすること。

継続

空き校舎等の利活用推進事業

- 評価** 旧水分小、旧彦部小の2校の実施方針の構築。
残る旧赤沢小、旧佐比内小、旧片寄小の3校については推進。
- 意見** 住民・関係者との合意形成を図ること。
事業者選定・事業者支援は、慎重な判断と将来に向け費用負担の在り方を十分検討。



- 提言** 費用対効果を十分に考慮し、活用について議論を尽くし、施設活用だけでなくあらゆる選択肢を検討すべき。

みなさんからの 請願 はこうになりました

9月会議前に受理した請願結果をお知らせします。

請 願 件 名	請 願 者	紹介議員	付託委員会	委員会結果	議決結果
赤石 18 区内町道の側溝整備に関する請願	小田島常夫	藤原 恵子	すこやか町づくり	採択すべきもの	採 択
紫波町小中学校給食費の無料化を求める請願	佐藤隆五郎	細川 恵一	すこやか町づくり	請願事項の2を採択すべきもの	一部採択
健康保険証を廃止しないことを求める請願	鷹 背 修司	細川 恵一 鈴木 博	すこやか町づくり	採択すべきもの	採 択

発議案第3号 紫波町議会基本条例の一部を改正する条例

議会基本条例において、一般質問の質問方式を特定せず、議員各々が論点および争点を明確にしつつ、政策提言を自由にすること。また、基本条例の評価および改善について時期の定めを撤廃するもの。

発議案第4号 紫波町議会 ICT 推進検討委員会の設置に関する決議

議員活動における調査、研究を充実するために、タブレット導入に関する調査、検討するもの。

発議案第5号 学校給食費の無償化を求める意見書

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもたちの健やかな成長を保障するための学校給食費を無償化することを、国・県へ要望するもの。
(令和5年9月22日 国・岩手県へ提出)

発議案第6号 健康保険証廃止の中止等を求める意見書

健康保険証の廃止とマイナンバーカードの一体化は中止を含め見直しをすることを求めること。
(令和5年9月22日 国へ提出)

議案第59号 紫波町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

討
論

反 対

細川恵一 議員

健康保険証が令和6年の秋に廃止され、マイナンバーカードに一体化されることにより国民皆保険制度の崩壊が危惧されるため反対。



議案第60号 紫波町印鑑条例の一部を改正する条例

討論

反対

細川恵一 議員

マイナンバーカードに町民の情報がひも付けされる。
個人情報保護がないがしろにされることになるので反対。

議案第61号 紫波町立都市公園条例の一部を改正する条例

討論

反対

及川ひとみ 議員

国が進める公募設置管理制度であるが、民間へ利益誘導と町民の意見が反映されない。
議会の議決を得ないなどが危惧されるので反対。

議案第63号 令和5年度紫波町一般会計補正予算（第5号）

■ 主な補正予算（万円未満切り捨て）

〈歳出〉

項 目	金 額	補 正 の 理 由
脱炭素センター運営支援委託料	488 万円	再エネ設備導入などの相談窓口を開設するため
脱炭素先行地域づくり事業設備設置費補助金	7072 万円	再エネ設備などを導入するため
農作物災害復旧対策事業補助金	1027 万円	低温被害に対する、りんご、ぶどうへの支援

反対

高橋敬子 議員

地球温暖化対策費について、再生可能エネルギーは供給が不安定でコストが高くなる。十分な検討がされることなく事業が進む可能性がある。先が読めない事業による財政負担を大きく背負い込むことになるという懸念で同意できない。

討論

賛成

北條 聡 議員

脱炭素に係る事業は国の採択を得ており、粛々と進められることから、賛同する。

賛否が分かれた議案

	吉田和希	村上みさと	鈴木博	佐藤光夫	橋浦栄一	高橋敬子	浅沼有朋	北條聡	阿部秀一	佐々木純子	阿部美佳子	熊谷育子	細川久	及川ひとみ	細川恵一	藤原恵子	根水康博	武田平八	賛成	反対	結果
紫波町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	13	4	可決
紫波町印鑑条例の一部を改正する条例	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	13	4	可決
紫波町立都市公園条例の一部を改正する条例	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	—	12	5	可決
令和5年度紫波町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	16	1	可決

※武田平八議員は、議長のため採決に加わっていません。



人事

人権擁護委員

うちじょうひろこ
内城寛子さんを
適任と決定
森 亮さん

法務大臣が委嘱する人権擁護委員の候補者の推薦について、内城寛子さん（日詰）、森亮さん（古館）を適任と決定しました。

任期は令和6年1月1日から3年間です。

人権擁護委員は法務局職員とともに、人権侵害事件の調査処理、人権相談、人権啓発活動などを行います。

教育委員

滝澤真千子さんが選任

たきざわ まちこ
任期が満了することに伴い、教育委員に滝澤真千子さん（赤石）を再任することに同意しました。

任期は、令和5年10月1日から4年間です。

町長から辞令を受け、教育行政の運営などに携わります。

令和5年9月会議提出議案等…28件

報告4件、認定6件、条例5件、財産取得1件
予算4件、契約1件、人事3件、発議案4件

- 報告 8 令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率
報告 9 紫波町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の専決処分
報告10 令和5年度紫波町一般会計補正予算（第4号）の専決処分 補正額 11,182千円
報告11 紫波町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分
認定 1 令和4年度紫波町一般会計歳入歳出認定 決算額 15,640,213千円
認定 2 令和4年度紫波町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定 決算額 3,105,510千円
認定 3 令和4年度紫波町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 決算額 349,878千円
認定 4 令和4年度紫波町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定 決算額 3,371,466千円
認定 5 令和4年度紫波町介護予防サービス計画事業特別会計歳入歳出決算認定 決算額 7,132千円
認定 6 令和4年度紫波町下水道事業会計決算認定 収益的支出 1,268,755千円 資本的支出 1,060,265千円
議案57 紫波町いきいき農村基盤整備事業分担金徴収条例
【新設】いきいき農村基盤整備事業の費用に充てるため徴収する分担金について定めようとするもの
議案58 東根山の日条例
【新設】東根山の日を設けようとするもの
議案59 紫波町個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
特定個人情報の利用に関し必要な事項を定めようとするもの

- 議案60 紫波町印鑑条例の一部を改正する条例
多機能端末機を利用した印鑑証明書に関する規定について改めようとするもの
議案61 紫波町立都市公園条例の一部を改正する条例
公募対象公園施設の建築面積及び運動施設の敷地面積について基準を定めるとともに、併せて所要の整理をしようとするもの
議案62 財産（動産）の取得
消防団小型動力ポンプ付軽積載車の取得 仮契約金額 13,178千円
議案63 令和5年度紫波町一般会計補正予算（第5号） 補正額 354,164千円
議案64 令和5年度紫波町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 補正額 565千円
議案65 令和5年度紫波町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 補正額 116,619千円
議案66 令和5年度紫波町一般会計補正予算（第6号） 補正額 11,911千円
主なもの…地域熱供給事業状況調査業務委託料 11,000千円
議案67 あづまね温泉保養施設ききょう荘高効率給湯設備工事設計・施工一括発注業務の請負契約の締結 仮契約金額 55,000千円
議案68 人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求める
69
議案70 教育委員会の委員の任命に関し同意を求める
発議案3 紫波町議会基本条例の一部を改正する条例
発議案4 紫波町議会Ⅰ推進検討委員会の設置に関する決議
発議案5 学校給食費の無償化を求める意見書
発議案6 健康保険証廃止の中止等を求める意見書



一般質問 9議員が

町政を問う



一般質問とは…

- ・議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて、事前の調査・検討に基づき疑問点を質問し、政策的な論議をする場です。
- ・紫波町議会では、1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。
- ・質問方式は一問一答方式で行い、時間内であれば質問・答弁を回数制限なく繰り返すことができます。

一般質問の動画はこちら。紫波町議会のホームページからご覧いただけます🔗



質問者（登壇順）	質問事項（通告順）	掲載ページ
高橋敬子	○行政品質の維持向上について いざという時の保育制度について ○岩手医大病院への公共交通の乗り入れについて	P12
佐藤光夫	○城山公園の整備と活用について	P13
藤原恵子	○紫波町議会選挙告示日の体制について ○紫波町農業振興及び水田・森林荒廃の対策について	P14
阿部秀一	○福祉の充実について	P15
橋浦栄一	○通学路の安全対策について 防災について ○マイナンバーカードについて	P16
村上みさと	○妊産婦の支援について ○子どもの居場所、遊び場について	P17
鈴木博	○人口減少について ○教育と人材定着について	P18
細川恵一	○マイナンバーカード問題について ○空家対策について ○町道整備について	P19
及川ひとみ	○農業支援について ○子どもたちへの支援について	P20

※次ページからの一般質問の内容は、紙面の都合上○印の質問事項を要約して掲載しています。
9月定例会の傍聴者は延べ37人。議会傍聴にお越しいただきありがとうございました。





たかはし けいこ
高橋敬子 議員

全庁課題とし取り組むべき

【答】ガイドラインの設定を検討

行政品質
維持向上

問

定期監査において一般管理費率に関するガイドラインの設定、物品の管理、職員の直営作業従事の3項目について言及されている。これらについてのどのように取り組んでいくのか。

町長

行政品質向上を目指す上で一般管理費の積算方法を確立し、ガイドライン設定の必要性を検討する。「物品の管理」は、庁舎以外を使用の場所とする重要物品の中に長期間にわたり使用されていないものが散見されたので、各課での対象物



できることは職員がやっています

問

の有無の確認、適切な対応を指示した。「職員の直営作業従事」は、職員が本来の職責を全うする環境整備を求めるものだが、職員のキャリア形成や事業の性格上職員が行わなければならないものもある。実態を各課で調査判断していく。

企画総務部長

各課の予算、事業の内容を都度見てもらっている。全体的に真摯に受けている。

監査の指摘は行政品質の改善になり町民の利益となると捉えるが。

問

矢巾町にある岩手医科大学付属病院と岩手県立療育センターを利用する人が増えている。利便性の高い公共交通の乗り入れは検討できないか。

町長

町内から岩手医科大学付属病院や県立療育センターを利用する場合、自家用車またはタクシーで直接移動か、しわまる号、鉄道、路線バスを乗り継いで移動である。しわまる号の矢巾町への乗り入れは、移動時間が長くなるため、他の利用者に不利益が生じてしまうことが懸念事項とされている。

問

花巻市は、コミュニティバスを乗り

しわまる号

【答】慎重に判断

矢巾町へ乗り入れせよ

入れている。町ではできないか。

企画課長

公共機関の組み合わせをお願ひしている。意見を聞きながら、進めたい。

問

利用者の利便性を考えられないか。

町長

しわまる号の隣接市町への乗り入れは、住民要望はもとより紫波町地域公共交通会議で意見を聴き、慎重に判断していく。



大事な足になってます 





さとうみつお
佐藤光夫 議員



伐採により現れた眺望
～第二駐車場～

城山公園

整備を速やかに行うべき

〔答〕迅速に対応していきたい

問 町の中央部における熊やシカの被害は、城山公園の整備が行き届いていないため、野生動物の通り道を作っているのではない

か。

町長 城山公園は安全にかつ手軽に自然環境に触れ合える場所だが、有害鳥獣が増えて対策に苦慮している。進入路となるような見通しの悪い林地などを

伐採し、対処していきたい。

問 対策しているのはよく分かる。その上で、さらに整備、伐採作業を加速することはできないか。

町長 公園内の伐採は用材の確保を対象

としていたため、当初は伐採適期を見て行っていた。今後は景観を保ちつつ、伐採、監視カメラ設置を行い、鳥獣被害対策実施隊などと連携をしながら住民の安心を第一に考えて迅速に行っていくきたい。

としていたため、当初は伐採適期を見て行っていた。今後は景観を保ちつつ、伐採、監視カメラ設置を行い、鳥獣被害対策実施隊などと連携をしながら住民の安心を第一に考えて迅速に行っていくきたい。

問 整備停滞の影響で、史跡としての価値の保存に住民は危惧を抱いている。町として、歴史的価値をどう考えているのか。

教育長 城山公園は、町の歴史を語る上で政治・経済の拠点としても重要で高い価値を持つものと考えている。史跡の価値を保護しながら、ホームページなどを用いて城山の歴史価値を広く分かりやすく伝えていきたい。

問 城山の歴史資源的価値を子どもたちに伝えることが重要。郷土愛を育むために何をしていくか。

教育長 学校教育の中で伝えていく見通しはあるが、まだ手をつけていないのが現状。歴史学習として組み込んでいきたい。

町長 町内における最大あり、また史跡価値の高い城山公園は町の重要な観光資源と認識している。観光地開発に関しては周辺住民や町民の意見を聞きながら慎重に進めていきたい。



看板のリニューアルも必要です



クマってます

問 現状、城山公園は町民の視点から荒廃する未来しか見えていない。町が主導で何らかのアクションを起こすべきではないか。

町長 町内における最大あり、また史跡価値の高い城山公園は町の重要な観光資源と認識している。観光地開発に関しては周辺住民や町民の意見を聞きながら慎重に進めていきたい。



クマってます



ふじわら けいこ

藤原恵子 議員

選挙告示日の体制を整備せよ

選挙管理委員会

答 より良い体制を検討する

問 町議会議員選挙告示日の立候補届出書類の受理が遅れた理由は。

選挙管理委員長 告示日は選挙管理委員会の職員など16人体制で受付開始した。今回は供金制度や選挙公営制度が導入された初の選挙で書類の数が増えた。当日、速やかな不備解消が難しい事案が発生し



スムーズな選挙事務を

たことから順番を繰り上げ、受け付けを進めた。

問 事前に書類を確認して告示日を迎えることはできないか。

選挙管理委員長 次の選挙までには体制を整え早く受付が終わるようにしていく。

町長 他市町村の事例を参考にしながら若者が従事できる体制づくりに努める。

問 若者が農業に携わるには国と交渉しながら福利厚生を充実させた公社が必要ではないか。



モオー たいへん!

農業振興

農家の苦境を救え

答 より良い形を模索していく

問 水田や森林の荒廃対策と、畜産飼料高騰と売値暴落の状況下での生産者に対する支援は。

町長 森林の公益的機能を持続するため、国・県・町で支援をする。畜産農家の支援は補助を予定、昨年度対象外だった子牛も対象とする。

問 特に畜産農家は苦境であるが、町として支援の強化はできないか。

町長 国の政策を見ながら町としてできることで対応していきたい。

問 次世代に継承し持続可能な農業の取り組みは。

農政課長 地域や年代に即した農業の進め方を農業関係者と共に進めていきたい。



地域福祉

高齢者の孤立をなくせ

【答】包括的な支援を進める

問

高齢者を社会から孤立させないために地域包括ケアシステムが推進されているが、どのような成果があり、今後の課題は何か。

町長 分野ごとの相談窓口を設置し、あらゆる関係者が連携しながら必要な公的サービスを提供することや生活支援の仕組みを構築できた。また、在宅医療と介護の分野では、多職種の連携強化、切れ目のない在宅

問

高齢者の単独世帯や老夫婦世帯が増える中、地域で見守る体制は。

生活部長

地域包括ケアシステムの構築をしてきた。家庭の介護力を補うものとして、介護保険サービスが最も重要なサービスと位置付けている。包括支援センターが相談支援し、孤立化しないように努める。



あべ ひでかず
阿部秀一 議員



緊急通報装置（イメージ）

問

生活コーディネーターとの連携強化の取り組みは。

長寿介護課長

生活支援コーディネーターが outgoing 活動しており、引き続き地域の中での活動支援と周知を進め、連携強化に努める。

問

孤独死を防ぐためのコミュニケーションの構築が必要では。

生活部長

地域のコミュニティは大切である。保健師の健康相談などを通して地域に向き、つながりを回復させる活動を進める。

問

高齢者の孤立化を防ぐための緊急通報装置の導入などの取り組みは。

町長

見守り事業として、個人宅やシルバーハウジングに緊急通報装置を設置している。個人宅は持病を有するなどの設置条件が



みんなで楽しく「ころばん体操」

問

あるため、令和4年度の実績は2台である。また、地域で高齢者を支える仕組みとして「高齢者見守りネットワーク」を構築し、各団体と連携を図っている。今後も、町の見守りに係る各種事業を周知し、安心して暮らし続けられるよう、地域の支え合いの体制づくりを進める。

他の自治体ではデジタル技術を生か

長寿介護課長

した高齢者の見守り事業の事例がある。当町でも取り組みを進めてはどうか。

現段階では費用負担などの面もありデジタル導入は考えていない。高齢者の見守りについては「いの家」などの事業を通じて地域の人々とのつながりや触れ合いの場をつくるのが重要と考えている。

防 災

災害時の準備を万全に

【答】 地域防災計画に基づき対策している



はしうらえいichi

橋浦栄一 議員

問 災害時の被災者救済対策は、準備しているか。

町長 主な避難所への防災無線や発電機の配備、毛布や簡易ベッドの備蓄、防災訓練、協定による支援体制の確立など様々な対策をしている。

町長 JAや農家などと協定が必要では。

町長 現在、災害に関する協定は、40の機関・団体と締結し、食糧は町内6社と姉妹都市と協定を締結している。



備えあれば憂いなし

問 緊急一時避難所として寺社との協定を町が主導しては。

町長 6カ所の寺社と覚書を交わし避難所に指定している。今後地域の実情に合わせ対応していく。

問 近隣市町が被災した時の救援体制は。

町長 盛岡広域8市町では、令和2年12月に「備蓄物資の総合融通に関する覚書」を締結している。

問 町のマイナンバーカードの発行枚数、健康保険証の利用申し込みの状況は。

町長 マイナポイント事業の効果を受け、町民の約75%に当たる24,000人以上が取得している。うち約7割が保険証の一体化登録と推察される。

問 2024年秋の健康保険証廃止に対して取り組みは。

町長 国では、交付申請がなくても「資格確認書」を職権で交付するなど検討している。町では、マイナンバーカード保険証の普及とともに、制度の方針に基づき、運営に努める。

マイナンバーカード

保険証の廃止、不便なく

【答】 制度に基づき運営に努める



マイナンバーカードの申請をサポートします

問 住民票など役場窓口で取得できるものと、マイナンバーカードでコンビニ交付できるものを明確にすべきでは。

町長 役場窓口とコンビニ交付で取得できる証明書を明確にすることは必要と認識している。町のホームページやマイナンバーカードの交付の際に案内している。分かりやすい周知に取り組んでいく。



議会だより



No.207 令和5年10月25日発行



むらかみ
村上みさと 議員



妊産婦に優しい環境づくりを

母子保健

妊娠から子育て期の支援を

【答】切れ目ない支援に努める

問 町には分娩施設がないため、陣痛中や産後の健診時のタクシー料金の補助が必要では。

町長 妊婦一人で通院が必要となった場合には出産に至るまでの安全確保の観点からも移動支援サービスは大切なものと認識している。他の自治体の事例を参考としながら取り組みを検討していく。

問 妊婦健診は、40週を超えると受診票

授乳場所に関する情報収集を行い、

生活部長 授乳場所に関する情報収集を行い、

町長 出産予定日を超えた場合の妊婦健診についても、安心安全な出産支援の取り組みを検討していく。

問 町内で授乳できる場所のマップ化と周知が必要ではないか。

併せて、場所を増やすべきではないか。

一覧表を作成し、乳児健診や赤ちゃん訪問時や4〜5カ月広場で周知していく。授乳場所については、これまで公共施設の整備時に設置を進めてきた。

※妊婦健診とは？
妊婦とお腹の赤ちゃんのための健康診査。紫波町では母子手帳交付時に妊娠初期から39週までの14回分の受診票を発行している。

年齢問わず遊べる場が必要

【答】より良い環境を研究していく

子どもの居場所

問 町内の子どもの遊び場や居場所は利用に制限がある。年齢にかかわらず、自由に屋内で過ごしたり遊ん

だりできる場所が必要では。

町長 子どもが安心して遊べる場所や地域における子どもの居場所が求められている。屋内の遊び場や居場所も含め、子どもにとってより良い環境について総合的に研究していく。

子ども課長 自由に遊べる場所

は特に屋内は全体的に不足している。今ある施設の活用など協議していく。

問 建物を整備するに



のびのびあそびたいー！



すずき ひろし
鈴木 博 議員

人口減少

移住促進、出生率向上を

〔答〕 国や県と連携していく

問 東部・西部地域では人口減少が続いている。町の人口推移をどのように捉えているか。

町長 中央部は5年前に比べ約3%増、特に赤石地区では13%増となっているが、西部地域では約7%、東部地域では約8%人口減少している。人口が減少している地域では高齢化や若者不足による地域活動の停滞、各種産業の担い手不足などが課題である。

問 移住促進・出生率向上の取り組みと現状の課題は。

町長 町では夫婦ともに39歳以下の新婚世帯を対象に新婚新生活支援補助金を支給している。東京圏からの移住者を対象に移住支援金を支給しているが、東京圏以外からの移住希望者に適応できない点が課題と捉えている。出生率向上の取り組みは出産・子育て支援給付金の支給、相談支援体制の充実を図っている。



新生活応援

定住促進

〔答〕 県の支援制度を活用 人材定着の取り組みは

問 県が促進する「いわて産業人材奨学金返還支援制度」の周知状況と認定企業の現状は。

町長 令和5年度65社が認定を受けている

が町内企業で認定を受けた企業はない。町では制度についてホームページで掲載しているほか8月の商工会報にチラシを同封し制度の周知に努め、町内企業

の雇用促進、人材の定着に努めていく。

問 金融教育に関する小中学校の取り組みは。

教育長 小学校家庭科で「売買契約の基礎について触れること」、中学校技術・家庭科で「クレジットなどの三者間契約についても扱うこと」などが行われている。



紫波で暮らそう





ほそかわけいichi
細川恵一 議員



マイナンバーカード

完全移行は性急ではないか

答 適正な運用に努めていく

問 健康保険証が廃止されてマイナンバーカードに一体化されるが、町内の医療機関対応は。

町長 一体化は全国的にも7割ほど進んでおり、情報の確認が容易なことから、過誤請求や事務コストの削減が期待できる。また、町内9割の薬局でマイナンバー保険証での受診ができる。

取得者が資格確認書を発行してもらう体制は不備が発生するのでは。
町長 法改正により、資格確認書に関わる運用方法が見直される。健康保険証の廃止方針については維持しつつ、適正な運用をしていきたい。

有効な対策は

答 法改正が追い風

空家対策



町の空き家バンク物件

問 6月に空家に関する特措法が成立した。基本方針と施策の進捗状況は、どのように把握しているか。

町長 第2期紫波町空家等対策計画を策定し、「空家等の予防と適正管理」「空家等の有効活用」「特定空家等に対する対応」の3つで進めている。第1

期計画では空き家バンクの登録件数が22件、管理不全状態の空家の解消が目標5件に対し17件あった。引き続き進捗を把握し、計画を見直しつつ進めていきたい。

道路請願

整備を進めよ

答 優先順位を決め進める

問 議会で採択されたが、数十年前のものがいまだ整備未実施だ。今後どのように進めていくのか。

町長 請願に係る道路整備ととも、改良済路線や橋梁などの整備、更新を、経年劣化を視野に入れながら順次対応しているが限ら

れた財源の中で行っているため、思うように進まないのが現状だ。
問 いつ工事が始まるのかとの声を頂いているが。

町長 請願採択道路については優先順位を決めて効率的に整備を進めていきたい。



ぼっこぼこ！

農業支援

あらゆる手を尽くせ

【答】 できることから取り組む



おいかわ
及川ひとみ 議員



紫波のぶどうおいしいよ

町長 令和5年度の畑地
化促進事業に町内

問 畑地化促進事業の
状況は。

を講じていきたい。
ては町独自で支援措置
30%までの園地につ
の減少見込みが20%
業対象外となる、収穫

町長 見込みが31%以上の園
地については「岩手県
農作物災害復旧対策
事業」により、県と
町で支援する。県の事

問 果樹の低温被害に
ついて町の支援は。

被害調査報告に基
づき、収穫の減少

識している。対応につ
いてはもう一度組み立
て直す。クマは我々と
一緒に住んでいる感覚
を市街地の人も持って
生活する必要があるの
ではないか。また、ク
マの人的被害は絶対起
きないように対策した
い。

町長 埋設に労力がか
かっているのは認
識している。対応につ
いてはもう一度組み立
て直す。クマは我々と
一緒に住んでいる感覚
を市街地の人も持って
生活する必要があるの
ではないか。また、ク
マの人的被害は絶対起
きないように対策した
い。

ニホンジカの埋設処分
に対して交付金をさら
に活用できないか。

問 鳥獣被害は災害と
言える。市街地で
クマが出没した際の訓
練が必要ではないか。

地域で目指すべき将来
の農地利用の姿を共有
する必要がある。

47 ha、18経営体が申請
したが、1次採択で採
用されたのは1.2 ha、1
経営体という状況。高
収益作物への取り組み
が必須と推察している。

る家庭は限られる。

問 就学援助制度が
あっても利用でき

がある。
か慎重に判断する必要
がある。

町長 町独自の事業とし
て無償化を拡大し
た場合、事業費の規模
が他の子育て支援事業
と並行して実施できる

か。
子から無償にできない

問 0歳児〜2歳児ま
での保育料を第1

いく。
財源確保の要望をして

町長 現状では困難。国・
県・近隣市町村の
動向を注視しつつ、機
会を捉え国や県に対し

問 子どもの医療費助
成を完全無償化に
できないか。

子育て支援

費用の負担軽減を

【答】 国や県に要望していく



給食も教育の一環です

問 誰一人取り残され
ない学びの保障に

教育長 学校の優先課題は老
朽化に伴う学校給
食センターの施設整備
と捉えており、現段階
では一部補助を実施す
る予定はない。

学校給食費の一部補助
に取り組めないか。

向けた不登校対策（C
O C O L O プラン）の
取り組みは。
教育長 教育委員会では従
前からC O C O L
O プランの趣旨と同様
の取り組みを進めてい
る。



議会モニターとの意見交換会

令和5年8月24日 午後6時30分～8時00分 役場会議室

委員長あいさつ

私も数か月前まで議会モニターであった。ここにお集まりのモニターの皆様は町や地域に対して何かしらの気持ちや思いがあると思う。この議会がどうしたらさらに良くなるかというところを重点的に意見交換いただければと思う。 広報公聴常任委員長 鈴木 博

議会中に居眠りしないように努めてほしい。

おやまだ みちよ
小山田 美千代さん

新人だからできることがあると思う。新人なりの質問をどんどん出してほしい。大きな間違いさえしなければ間違ってたっていいと思う。堂々と自信を持ってやってほしい。

前回の議員選挙も同様だったが無投票かと思ったら選挙することになった。無投票で競争しないで当選されるよりは、どういう思いで立候補したのか聞きたいので選挙運動はしてほしい。今後は政務活動費の監視もしていく。

おがさわら えつこ
小笠原 悦子さん

新人議員もそれぞれ志を持っていると思う。会派に入ることによって自分の志がどの程度通るものなのか。先輩議員の顔色を伺う状況はあるか。新人の方に期待することは粗削りでも何でも新人が入って新しい風を吹き込むこと、それから既成のものに捉われないで行動することがすごく大事だと思う。令和の時代に即した議会をつくる時期だと思う。謙虚に学びながらかつ自信を持って進んでほしい。次の議会が楽しみだ。次の選挙のときは若い人がどんどん出てくるような活動を4年間でしてほしい。

やまぐち むつみ
山口 睦美さん

一般質問は、自分の信条とか問題意識として持っていることを町に出て活動して実態を調べて、一般質問の形として出てくるのか。一般質問は、身近なものなので、興味を持ってその日にちに合わせていくわけだが、一問一答で終わってしまい、それがどのような形になって表れていくか経過がない。聞いてると、だんだん、つまらないと思ってしまう。その他の議案審議（委員会）とかは、いろいろと意見が出るのか。淡々と提案されたものが、すーっと通っているのか。

あべ えいこ
阿部 榮子さん

議員になったのなら、自分が公約を掲げたものは必ず言うこと。議会で間違ってもいいと思う。選挙運動は、告示から投票日まで5日間だが、実は4年間で次の告示までの選挙運動だと思っている。有権者の皆さんはこの人何やってんだろうなと見ている。もっと、これから議員がどんどん話して興味を持って立候補してくれればいいのと思う。18人の定数で30人くらい出れば、面白いことになる。私だったら5,000円の政務活動費で活動しろと言われてたらない。あとは自分から持ち出ししないといけないうのはおかしい。議員さんたちでどうやって変えられるか考えてほしい。

ほうじょう みさと
北條 京さん

※意見は一部抜粋して掲載します。



令和5年度 紫波町議会報告会

「町民と議会の意見交換会」開催のお知らせ!

開催趣旨－議会活動や行政課題に対する取り組みの状況など、議会の説明責任を果たすとともに、町民の皆さんの意見や提言などを取りまとめ、町の発展と議会の活性化を図る。

主 催－自治公民館、紫波町議会

▼ 次の日程・会場で開催します。

※開催時間は約1時間30分

開催日	1 班	2 班	3 班	4 班
10月29日(日)	情報交流館 大スタジオ 午前10:00～	古館 桜田公民館 午前10:00～	古館 上町公民館 午前10:00～	佐比内 佐比内八区公民館 午前10:00～
10月30日(月)		古館 中陣公民館 午後6:30～	古館 前郷公民館 午後7:00～	佐比内 佐比内五区ふれあいセンター 午後6:30～
11月7日(火)	赤石(桜町北通、桜町南通) 桜町北通公民館 午後6:30～			志和 稲藤第一公民館 午後7:00～
11月8日(水)	長岡 常川公民館 午後6:30～	長岡 西長岡中央公民館 午後7:00～	長岡 横沢公民館 午後6:30～	志和 十二神公民館 午後6:30～
議 員 班編成 (○は班長)	○細川 恵一 吉田 和希 橋浦 栄一 高橋 敬子	○藤原 恵子 村上みさと 北條 聡 阿部美佳子	○及川ひとみ 鈴木 博 浅沼 有朋 熊谷 育子	○細川 久 佐藤 光夫 阿部 秀一 佐々木純子

▼ 当日は 議会だよりしわ No.207(本号) を持参願います ▼

【 報告会の内容 】

- ・ 町の令和4年度決算状況、各委員会からの報告
- ・ 町政、議会運営に関する意見・要望・提言

どなたでも参加できますので、お誘い合わせのうえおいでください。
会場入り口に消毒液、体温計を準備しています。消毒、検温のご協力をお願いします。

【問合せ先】紫波町議会事務局 電話 672-6866(直)





議員が依頼に伺った際は
ご協力をお願いします。

聞かせて まちの声

町内の方々に寄稿していただきました



保育園に生まれ変わる旧星山小学校

農家は、家の仕事をする自営業です。小さい子どもを見ながらの農作業は、はかどりません。重機や刃物を使う仕事も多く、農地で目を離れたら水路や電気柵など、何と接触するか分からない危険が潜んでいます。農業といっても自由が利くことばかりではなく、雨の日も仕事はたくさんあります。そういうことから、保育園で子どもを預かってもらえることはありがたいことです。農家の人も預けられる保育支援を切に願います。

わかってほしい！



よしだ らん
吉田 蘭さん
(赤沢地区)



あ〜うめがった!!(๑)

就労継続支援B型事業所「ムーヴメントしわ」は、就労するため訓練の必要な方や障害のある方、引きこもりなどの方が接客や調理補助に携わり、人と関わりや就労の訓練を行っている食事とコーヒーのお店です。

「働く人も食べる人も、おいしく・楽しく、みんなで幸せを分かち合う」そんなお店です。

他にも、皆様からのご信頼に応じて、農作業、メール便配達など各種作業にも取り組んで、障害を持った人も普通に生活・就労できるような支援しています。

みんなで幸せを
分かち合う



くまがい じゅうこう
熊谷 重孝さん
熊谷みを子さん
(片寄地区)
(特定非営利活動法人
ムーヴメント)



いい湯だな♪

ききょう荘は、あづまね山のふもとにある温泉施設です。温泉は三時間は湯冷めしないと言われるほど定評があり、良質の湯が自慢の施設です。湯上がりの後は、お客様同士の「語らいの場」として利用されています。

また、ききょう荘はお風呂だけでなく、お食事もお慢です。お客様には「地元の味」を楽しんでいただいております。

ききょう荘は、お客様の心と体を解きほぐす「癒やしの湯」。どうぞ多くの皆様にお越しいただきたいと思っています。

やまふところの
癒やしの湯



はしもと まさよし
橋本 昌好さん
(赤石地区)
(あづまね温泉保養施設
ききょう荘)



シリーズ みみよりの話 No.45

古いもののある風景で



陶器の工房で6年、磁器の工房で4年と、陶芸の仕事をお手伝いさせて頂き独立し開窯。工房を構えさせて頂いているのは、旧遠山分教場の一角。彫刻作家と共同で建物の保全をしつつ制作をしている。

2010年までは、吉田清志画伯のアトリエだったが、ご夫妻がお亡くなりになってから長く空き家になっていた。そのため建物は随分傷み、庭の木も育ちすぎて鬱蒼となっていたため、大掃除と庭仕事がこのでの最初の仕事だった。分教場の歴史や思い出を見つめてきたであろう木をただ切るのは忍びなく思い、昇華させて残したいと、燃やした灰を釉薬にした。優しい

色合いの器となった。この場所は、私たちのような作家にとって仕事をするのに本当に有難い。少々の不便や厳しい季節もあるが、田や果物畑、夕陽や星空がとても美しく、毎日何かしら新しい感動があり、感性の栄養となり癒されるからだ。

そんなこの場所を後の世代に残せるよう、良い仕事をしながら守っていかれたらと思う。

陶磁器作家
いしかわ みそたろう



表紙の写真

大切に受け継がれるもの



日詰地区で104年目を歩んでいる認定こども園ひかりの子の運動会活動の様子を撮影しました。

大きな体育館に緊張気味の3歳児と体育館で初めて鼓隊活動をする5歳児。

園の卒園生でもある先生から「この太鼓は先生よりもっと前のおともだちからずっと大切に使われてきたものです。みんなも大切にしたいのです。もだちが気持ちよく使えるようにしましょう。」というお話を真剣に聞く子ども達の姿が印象的でした。



ペンをおいて

秋の夜空では、月の光がそれぞれの家庭をみな同じように照らしています。

初めての一般質問や、議会での審議を終え新しい議員が、編集に取り組みしました。委員それぞれの個性を生かし、意見を交わしながらの作業は住民福祉の増進を目指すもので

す。

また、発議案の中には、議会基本条例やタレット使用についてもあります。さらに、住民目線で開かれた議会になるように一同取り組んでまいります。

佐々木 純子



発行・編集責任者

議長 武田 平八

広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 博

副委員長 佐々木純子

委員 吉田 和希

村上みさと

佐藤 光夫

橋浦 栄一

及川ひとみ



議会からお願い 議会だよりの取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



植物油インキを使用しています



議会だより



No.207

令和5年10月25日発行